ふくもっちゃんの部屋　～清水出張所～

清水学習センター図書室の休室中、西口ライブラリー雑誌コーナーに「清水出張所」を設置しています！　ここでは、清水学習センター図書室で所蔵している雑誌の一部をご覧いただけます。（★…最新号のみ）

★**歌壇**…短歌の新作や最新の評論など、短歌にまつわる幅広い情報を掲載。

★**ヨガジャーナル**…レベルに合わせたヨガの実践法や食生活、旅情報を紹介。

★**Ｎｅｗｔｏｎ**…平易な文章と美麗なイラストで幅広い読者層を持つ科学雑誌。

★**ＰＨＰ**…「人生の応援誌」として創刊。生き方とは何かを様々な角度から検証する。

・**婦人公論**…仕事・夫婦・恋愛・健康をはじめ、主に女性に身近なテーマを発信。

・**天然生活**…暮らしを育むことをコンセプトに、シンプルでナチュラルな生活を提案。

※「婦人公論」「天然生活」の２誌はバックナンバーも西口ライブラリーにあります。

朗読会「ことのはの時間（とき）」を開催します

図書館職員による、大人のための朗読会です。

日時　令和8年12月19日（土）午後1時30分～（40分程度）
場所　コラッセふくしま3階　302会議室
定員　15名（先着順）※事前申し込み・参加費は不要です

図書館カレンダー　11 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ 印は休館日

図書館カレンダー　12 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ 印は「ふくよみの日」貸出2倍デー
※12 月は 25～27 日も 20 冊貸出

2026年 11 月 1 日発行
編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1－20
℡024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1－1
℡024-531-6551
図書館ホームページ
福島市電子図書館

福島市西口ライブラリー広報
西口ライブ発信
2026年 11･12 月号

毎月２４日は**ふくしま読書の日**です。本に親しみましょう！

新着本案内



『愛犬の困った!解決図鑑』

水越 美奈 著
エクスナレッジ（645ミズコ）

犬には普通の行動も、飼い主にとっては困ってしまうことも。解決するためには、ただ制止するのではなく「どう行動すればよいか」をきちんと教えてあげる必要があります。お互いが幸せに暮らすためのアイディアが満載です。



『宇野千代』

刑部 芳則 著
NHK出版（910. 2ウノチ）

作家・編集者・デザイナーであり、朝ドラ主人公のモデルとして注目を浴びる宇野千代。様々なドラマの風俗考証を務める著者が、価値観が大きく移り変わっていく時代の中で、自分らしく生きる事を選んだ千代の素顔に迫る評伝です。



『「いまを生きる力」を取り戻す感性の教室』

末永 幸歩 著／ダイヤモンド社（704スエナ）

話題の芸術作品を見ても、どこかで聞いたような感想しか浮かばない…。それは自然や音、匂いといった世界からの働きかけを受け止める「感性の扉」が閉まっているから。自分なりに感じ思考する力を育むためのステップを紹介します。



『雑草の生きざま』

稲垣 栄洋 著
毎日新聞出版（470イナガ）

道端に何気なく生えていて、ひとまとめに雑草とよばれる植物たち。踏まれるスペシャリストのオオバコ、戦略的に花粉をハチに着けるツユクサなど、そのしたたかな生存戦略を雑草学者が教えます。



『法廷通訳人の世界』

丁 海玉 著
創元社（327チヨン）

「法廷通訳人」とは、裁判で日本語が分からない外国人のために通訳を行う仕事です。一つの誤訳が誰かの人生を左右する。そんな緊張感の中で法廷に立つ彼らの実情や苦悩を、通訳人や裁判関係者へのインタビューから迫ります。

新着本

西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

世界の土偶 譽田 亜紀子 編著／散歩舎(209コンダ)	あたしたちのナルニア 青波 杏 著／早川書房(Fアオナ)
これだけで、逮捕 森 雅人 著 足立 直矢 監修／PHP 研究所(326モリマ)	アンダーウォール 神津 凛子 著／双葉社(Fカミズ)
借金の心理とメカニズム ジョン・B.ディンズモア 著 中道 暁子 訳／原書房(338デイン)	無音 櫛木 理宇 著／集英社(Fクシキ)
リズムを乱される生き物たちへの処方箋 遠藤 求 著／築地書館(481エンド)	あいつも誰かに殺される 下村 敦史 著／集英社(Fシモム)
長生きのど習慣 西山 耕一郎・熊井 良彦 著／日本文芸社(491ニシヤ)	嘘つきは人間のはじまり 真梨 幸子 著／光文社(Fマリユ)
アニメビジネス 大貫 佑介 著 木谷 高明 監修／総合法令出版(778オオヌ)	ブンガク猫 三咲 光郎 著／ 鳥影社(Fミサキ)
隅から隅まで外国語 黒田 龍之助 著／白水社(804クロダ)	短いこの人生でいちばん大事なもの 吉本 ばなな 著／幻冬舎(Fヨシモ)
物件漂流記 松尾 スズキ 著／文藝春秋(914．6マツオ)	きまぐれカプセル 星 新一 著／新潮社(P914．6ホシシ)
猫が動く、何かはじまる 山下 澄人 著／左右社(914．6ヤマシ)	人喰いパンダ殺人事件 五条 紀夫 著／新潮社(PFゴジヨ)
取り違えた封筒 Q.パトリック 著 三門 優祐 訳／行舟文化(933パトリ)	この恋が叶ったら、きっと死んでしまう 神永 学 ほか 著／PHP研究所(PFコノコ)

作家とオカルト

シャーロック・ホームズシリーズの作者として有名なコナン・ドイルは、生涯を通して心霊研究にも力を入れていたことで有名です。若い頃から交霊会に積極的に参加し、最愛の家族が次々に亡くなってからは彼らの霊との交信も試みました。

オカルト好きな作家は日本にも多くいますが、三島由紀夫もその一人です。彼と親交のあった澁澤龍彦によるエッセイには、顔を合わせれば幽霊や空飛ぶ円盤、心霊現象などの話題がよくあがった事や、友人を新築の家に招いた時に、狐狗狸(こっくり)さんの儀式を大真面目におこなう三島の様子が描かれています。また、異色のSF小説『美しい星』で、自分たちを宇宙人だと主張する家族を書いたことからも、関心の高さが伺えます。

参考文献:『コナン・ドイル伝』 篠田 航一 著 ／講談社(S930ドイル)

『文豪と怪奇』東 雅夫 著／KADOKAWA(910．2ヒガシ)

ライブラリアンの

展示★名作案内

～ すっきり、キレイに、美しく ～



日常の風景が少し違って見えるかも？

『「ふつうの暮らし」を美学する』

青田 麻未 著

光文社新書(701アオタ)

芸術だけではなく、日常の暮らしにまつわるものから「美」を見出す「日常美学」という学問があります。本書では掃除や料理、椅子など、家の中の物事を例にとり、日常生活の中で私たちの感性がどうはたらくのかを考えます。



買い溜めした物、出せる所にありますか？

『片づけ0ですっきり暮らす』

古堅 純子 著

大和書房(597フルカ)

5000軒以上の住宅を整理してきた著者が、物を減らすのではなく、収納力を上げる、作業スペースを確保する等で空間を美しく見せる方法を紹介しています。どうしても部屋が綺麗にならない、そんな時にすぐ実践できる1冊です。



きっと夜空を見上げたくなる！

『神秘的で美しい星図鑑』

丹野 佳代子 監修 まいまい堂 イラスト／ナツメ社(443シンピ)

おおいぬ座のシリウスは、ギリシャ語の「光り輝くもの」という言葉が由来です。また、おおいぬ座には、獲物を必ず捕まえる特殊な力を持つ神犬の話が伝わっています。星座や月、惑星にまつわる神話や逸話をイラストと共に紹介します。



美の神髄とは何か

『しらゆきの果て』

澤田 瞳子 著

KADOKAWA(Fサワダ)

源頼朝の命により、御堂の仏画を描くため鎌倉へ呼び寄せられた絵仏師の為久。御堂の完成を祝う落慶法要の場で、頼朝の妹である有子に見初められ…。時代に翻弄されながらも懸命に生きた絵師たちの姿を描いた短編集です。



表紙の絵には「北方のモナリザ」の異名が

『美貌のひと』

中野 京子 著

PHP研究所(723ナカノ)

神話の一場面に登場する憂い顔の女神、美男と評判の芸術家の自画像など、美しき人物が描かれた作品は数多く残されています。画家たちが追求した美の形や、名画の背景に隠されたエピソードを解説します。